

ブック・フェア

ごちそう・フェア



おみくじ本・フェア



バレンタイン・フェア



あなたと本の出会いコーナー

大そうじ



人体・健康



芥川賞・直木賞



令和5年もさまざまなテーマをご用意しております。すてきな本と出会えますように♪

※今後の開催予定のテーマです。(本が無くなり次第終了します。)

キラキラ・フェア [3月17日(金)~]



SDGs [3月10日(金)~]



はじめまして・フェア [4月21日(金)~]



子ども読書の日 [4月14日(金)~]



乗り物・フェア [5月19日(金)~]



ガーデニング・植物 [5月12日(金)~]



たなばた☆フェア [6月16日(金)~]



天気・気象 [6月9日(金)~]



第168回 芥川賞・直木賞

令和5年1月19日、第168回「芥川賞・直木賞」が次の通り発表されました。

芥川賞

「荒地の家族」:佐藤 厚志 「この世の喜びよ」:井戸川 射子

直木賞

「地図と拳」:小川 哲 「しろがねの葉」:千早 茜

芥川龍之介賞(いわゆる芥川賞)・直木三十五賞(いわゆる直木賞)は共に、1935年(昭和10年)に、菊池寛によって創設されました。芥川賞は、芥川龍之介を記念する意味と雑誌の発展、純文学の新人の発掘をめざして設定された文学賞で、第1回は石川達三の「蒼氓(そうぼう)」が受賞しています。

一方直木賞は、直木三十五を記念する意味と大衆文学の発展、新人の発掘をめざして設定された文学賞で、第1回は川口松太郎の「風流深川唄」など一連の作が受賞しました。

図書館には今年のみならず、これまでに受賞した作品もたくさんありますので、毎回欠かさず読んでいるという方は勿論、素敵な本との出会いを期待している方は、図書館に足を運んでいただき、是非手に取ってお読みください。ご来館、お待ちしております。